

B 8

エコアクション21

# 環境経営レポート

(令和5年度版)

運用期間：令和5年6月～令和6年5月

株式会社 拓秀建設

令和7年1月25日 発行

## 目 次

1. 環境経営方針	・・・ P 1
2. 事業の概要	・・・ P 2
3. E A実施体制	・・・ P 3
4. 環境経営目標	・・・ P 4
5. 環境経営目標の実績	・・・ P 5
6. 環境経営計画の取組と評価・ 次年度の環境経営目標及び環境経営計画	・・・ P 6
7. 環境関連法規等の遵守状況の確認	・・・ P 11
8. 代表者による全体の評価と見直しの結果	・・・ P 11

# 1. 環境経営方針

## (基本理念)

株式会社拓秀建設は土木工事業（舗装・水道・とび土工含む）の活動において地球環境へ及ぼす環境負荷について理解し、環境負荷削減に積極的に取り組み「地球に優しい企業」を基本理念とします。

## (行動指針)

当社は、土木工事等の事業活動において生じる環境負荷の低減を図るために以下の事項を重点的に取り組みます。

1. 二酸化炭素の排出削減に取り組みます。
2. 廃棄物の削減・分別を徹底し、リサイクルを推進します。
3. 排水量の削減に取り組みます。
4. 環境を配慮した工事を推進します。
5. 事業活動に関する環境関連法規等を遵守します。
6. この環境方針は全社員に周知し、広く一般に公開します。
7. 環境経営の継続的改善を誓約します。
8. 協力会社との共存を推進する。

制定日 平成26年9月16日  
改訂日 令和7年1月25日  
株式会社拓秀建設  
代表取締役  
里仲 秀夫

## 2. 事業の概要

- ◇ 事業所名 株式会社 拓秀建設
- ◇ 代表者名 代表取締役 里仲 秀夫
- ◇ 所在地 (本社)  
〒806-0041  
福岡県北九州市八幡西区皇后崎町13-27-810
- ◇ 会社設立年月日 平成29年8月23日
- ◇ 資本金 4000万円
- ◇ 環境管理責任者及び  
担当者氏名並びに連絡先 取締役 里仲 拓哉  
TEL 093-621-7073  
メールアドレス takushukensetu@nifty.com
- ◇ 事業内容 土木工事業 とび・土工工事業  
舗装工事業 水道施設工事業
- ◇ 事業許可番号 福岡県知事 (特-29) 第110868号
- ◇ 事業規模

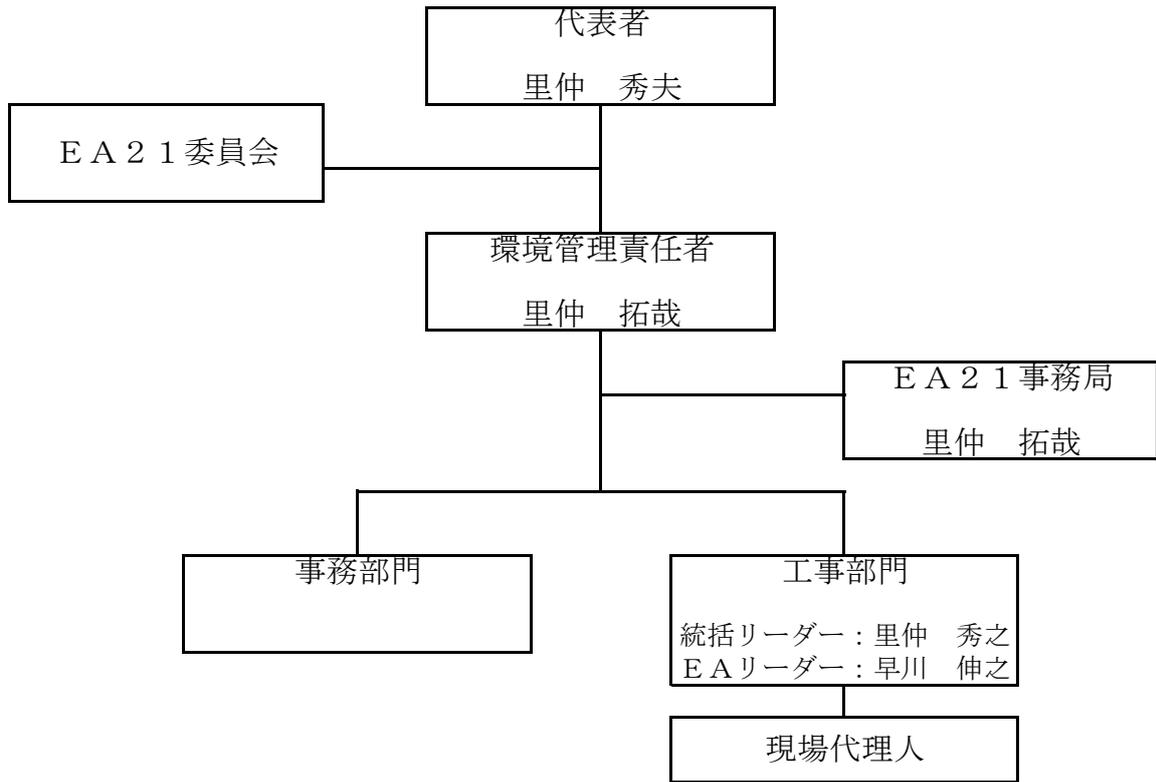
	単位	令和3年度 R3.6.1~R4.5.31	令和4年度 R4.6.1~R5.5.31	令和5年度 R5.6.1~R6.5.31
売上高	千円	235,000	228,000	213,000
従業員数	人	7	7	7
床面積	m <sup>2</sup>	40	40	40

- ◇ 事業年度 6月1日～5月31日  
(今回の活動レポート対象期間は R4年6月～R5年5月)

### 認証・登録の対象範囲 (組織・活動)

- ◇ 対象事業所 株式会社 拓秀建設 本社
- ◇ 対象事業活動 全事業活動

### 3. EA21 実施体制



《役割分担表》

氏名	役職	役割・責任・権限・使命
里仲 秀夫	代表者	全体の総括、環境方針の設定。 全体の評価と見直し。
里仲 拓哉	環境管理責任者	全体の把握。 環境経営システムを構築し、運用し、その状況を社長に報告する。
	EA21委員会	3ヶ月に1回開催し、環境目標の達成状況及び活動計画の 実行状況を審議する。
	EA21事務局	EA21事務局及び記録類の作成・維持・管理。
	事務部門	EA21委員会及び環境管理責任者に必要な情報を提供するとともに、委員会の決定事項等を社内に周知し、EA21を着実に実施する。
里仲 秀之	工事部門	工事部門におけるEA21の遂行を統括する。
EAリーダー	工事部門	工事部門におけるEA21の遂行管理に当たる。 工事部門における環境教育を担当する。
現場代理人	工事部門	建設現場の遂行管理に当たる。 関連部門との調整を担当する。

## 4. 環境経営目標

### 令和5年度及び中長期環境目標

環境目標		単位	令和2年度(6月～5月) (基準年度)	令和3年度(6月～5月) 目標	令和4年度(6月～5月) 目標	令和5年度(6月～5月) 目標
1 - 1	二酸化炭素排出量の削減	kg-CO2	33,376	33,042 (1%)	33,042 (1%)	<b>33,042</b> (1%)
1 - 2	電気使用量の削減	kWh	5,290	5,237 (1%)	5,237 (1%)	<b>5,237</b> (1%)
1 - 3	ガソリン使用量の削減	L	4,090	4,049 (1%)	4,049 (1%)	<b>4,049</b> (1%)
1 - 4	軽油使用量の削減 (現場)	L	8,500	8,415 (1%)	8,415 (1%)	<b>8,415</b> (1%)
2	産業廃棄物排出量の削減 (現場)	t/百万円	1.54	1.52 (1%)	1.52 (1%)	<b>1.52</b> (1%)
3	総排水量(使用水量)の削減	m <sup>3</sup>	192	190 (1%)	190 (1%)	<b>190</b> (1%)
4	環境に配慮した工事の実施(現場)	実施回数	1回/年	1回以上	1回以上	<b>1回以上</b>
5	会社周辺の清掃	実施回数	1回/月	1回/月以上	1回/月以上	<b>1回/月以上</b>
6	騒音振動の発生抑制(現場)	クレーム 発生回数	3回/年	3回/年以下	3回/年以下	<b>3回/年以下</b>
7	事故ゼロを目指す(現場)	事故発生 回数	0回/年	0回/年	0回/年	<b>0回/年</b>

※ ( ) 内%は令和2年度の実績値をベースとした削減率または向上率を示す。

※ 二酸化炭素排出係数は、九州電力の2019年度・調整後排出係数(0.370kg-CO<sub>2</sub>/kWh)を採用する。

## 5. 環境経営目標の実績

令和5年度の環境経営目標の実績  
(令和5年6月～令和6年5月)

環境目標	単位	令和2年度 (基準年度)	令和5年年度 目標	令和5年年度 実績	判定
1-1 二酸化炭素排出量の削減	kg-CO2	33,376	33,042	32,419	○
1-2 電気使用量の削減	kWh	5,290	5,237	5,220	○
1-3 ガソリン使用量の削減	L	4,090	4,049	3,900	○
1-4 軽油使用量の削減 (現場)	L	8,500	8,415	8,310	○
2 産業廃棄物排出量の削減 (現場)	t/百万円	1.54	1.52	2.95	✖
3 総排水量(使用水量)の削減	m3	192	190.08	188	○
4 環境に配慮した工事の実施(現場)	実施回数	1回/年	1回以上	1回	○
5 会社周辺の清掃	実施回数	1回/月	1回/月以上	12回	○
6 騒音振動の発生抑制(現場)	クレーム 発生回数	3回/年	3回/年以下	0回	○
7 事故ゼロを目指す(現場)	事故発生 回数	0回/年	0回	0回	○

※ 二酸化炭素排出係数は、九州電力の2019年度・調整後排出係数(0.370kg-CO2/kWh)を採用する。

## 6-1. 環境経営計画の取組と評価・次年度の環境経営目標及び環境経営計画

運用期間の環境経営計画の取組内容と評価  
(令和5年6月～令和6年5月)

### 1. 二酸化炭素総排出量の削減

経営計画の内容		判定	評価
1	電力使用量の削減	1 エアコンの設定温度を決め、実行する	○ 環境経営計画は実施して目標達成した。
		2 昼休みの消灯	
		3 残業時の不必要な照明の消灯	
		4 トイレの使用時みの点灯	
		5 夜間、休日のパソコン、プリンターの主電源OFF	
2	ガソリン使用量の削減	1 省エネドライブの励行	○ 環境経営計画は実施して目標達成した。
		2 アイドリングストップの励行	
		3 配車計画の合理化	
3	軽油使用量の削減	1 建設機械の作業の過剰負荷の禁止	○ 環境経営計画は実施して目標達成した。
		2 建設機械の作業停止時のエンジンの停止	
		3 配車計画の合理化	

### 2. 産業廃棄物排出量の削減

経営計画の内容		判定	評価
1	産業廃棄物排出量の削減	1 発生した残余資材の再使用	○ 環境経営計画は実施したが目標未達成でした。
		2 設計書図書の再チェックによる残余資材発生の防止	

### 3. 水使用量の削減

経営計画の内容		判定	評価
1	水使用量の削減	1 水を流しっぱなしにしない	○ 環境経営計画は実施して目標達成した。
		2 社用車の洗車を必要最小限とする	
		3 洗車等に使用するホースの先にはストッパーを付ける	
		4 水道配管からの漏水の定期点検	

4. 環境を配慮した工事の推進

経営計画の内容			判定	評価
1	環境を配慮した工事の推進	1 環境にやさしい施工や工法の採用	○	埋戻し材の再生材の使用を行った。

5. 会社周辺の清掃

経営計画の内容			判定	評価
1	会社周辺の清掃（1回/月）	1 会社周辺の清掃活動を行う	○	清掃活動に関しては目標を達成できた。

6. 騒音振動の発生抑制

経営計画の内容			判定	評価
1	騒音振動の発生抑制	1 低騒音・低振動型機械の採用	○	全て目標を達成できた。
		2 状況に応じた工法の選択	○	
		3 付近住民に理解を求める	○	
		4 クレーム発生の抑制	○	

7. 事故は絶対に起こさない

経営計画の内容			判定	評価
1	事故ゼロを目指す	1 朝礼で作業員の健康状態を確認する。	○	全て目標を達成できた。
		2 危険予知活動の内容を確認する。	○	
		3 作業の実施過程で目配り、気配りする。	○	
		4 AM、PMの現場パトロールで点検する。	○	

## 6-2-1. 次年度の環境経営目標

### 令和5年度及び中長期環境目標

環境目標		単位	令和2年度(6月～5月) (基準年度)	令和3年度(6月～5月) 目標	令和4年度(6月～5月) 目標	令和5年度(6月～5月) 目標
1-1	二酸化炭素排出量の削減	kg-CO2	33,376	33,042 (1%)	33,042 (1%)	<b>33,042</b> (1%)
1-2	電気使用量の削減	kWh	5,290	5,237 (1%)	5,237 (1%)	<b>5,237</b> (1%)
1-3	ガソリン使用量の削減	L	4,090	4,049 (1%)	4,049 (1%)	<b>4,049</b> (1%)
1-4	軽油使用量の削減 (現場)	L	8,500	8,415 (1%)	8,415 (1%)	<b>8,415</b> (1%)
2	産業廃棄物排出量の削減 (現場)	t/百万円	1.54	1.52 (1%)	1.52 (1%)	<b>1.52</b> (1%)
3	総排水量(使用水量)の削減	m <sup>3</sup>	192	190 (1%)	190 (1%)	<b>190</b> (1%)
4	環境に配慮した工事の実施(現場)	実施回数	1回/年	1回以上	1回以上	<b>1回以上</b>
5	会社周辺の清掃	実施回数	1回/月	1回/月以上	1回/月以上	<b>1回/月以上</b>
6	騒音振動の発生抑制(現場)	クレーム 発生回数	3回/年	3回/年以下	3回/年以下	<b>3回/年以下</b>
7	事故ゼロを目指す(現場)	事故発生 回数	0回/年	0回/年	0回/年	<b>0回/年</b>

※ ( ) 内%は令和2年度の実績値をベースとした削減率または向上率を示す。

※ 令和4年度以降は令和3年度の維持目標とする。

※ 二酸化炭素排出係数は、九州電力の2019年度・調整後排出係数(0.370kg-CO<sub>2</sub>/kWh)を採用する。

## 6-2-2. 次年度の環境経営計画

### 令和5年度 環境経営計画

#### 1. 二酸化炭素総排出量の2%削減

取組目標		活動項目		責任者				
					1～3月	4～5月	6～9月	10～12月
1	電力使用量の削減	1	エアコンの設定温度を決め、実行する	里仲拓哉				
		2	昼休みの消灯	里仲拓哉				
		3	残業時の不必要な照明の消灯	市川				
		4	トイレの使用時みの点灯	市川				
		5	夜間、休日のパソコン、プリンターの主電源OFF	市川				
2	ガソリン使用量の削減	1	省エネドライブの励行	早川				
		2	アイドリングストップの励行	早川				
		3	配車計画の合理化	早川				
3	軽油使用量の削減	1	建設機械の作業の過剰負荷の禁止	久保山				
		2	建設機械の作業停止時のエンジンの停止	久保山				
		3	作業規模に応じた建設機械などの種類や規格を用いる	久保山				

#### 2. 産業廃棄物排出量の2%削減

取組目標		活動項目		責任者				
					1～3月	4～5月	6～9月	10～12月
1	産業廃棄物排出量の削減	1	発生した残余資材の再使用	里仲秀之				
		2	使い捨て製品の使用や購入の抑制	里仲秀之				

#### 3. 水使用量の2%削減

取組目標		活動項目		責任者				
					1～3月	4～5月	6～9月	10～12月
1	水使用量の削減	1	水を流しっぱなしにしない	早川				
		2	社用車の洗車を必要最小限とする	早川				
		3	洗車等に使用するホースの先にはストッパーを付ける	早川				
		4	水道配管からの漏水の定期点検	早川				

4. 環境を配慮した工事の推進

取組目標		活動項目		責任者	1～3月   4～5月   6～9月   10～12月			
1	環境を配慮した工事の推進	1	環境にやさしい施工や工法の採用	里仲秀之				

5. 会社周辺の清掃

取組目標		活動項目		責任者	1～3月   4～5月   6～9月   10～12月			
1	会社周辺の清掃（1回/月）	1	会社周辺の清掃活動を行う	里仲秀之				

6. 騒音振動の発生抑制

取組目標		活動項目		責任者	1～3月   4～5月   6～9月   10～12月			
1	騒音振動の発生抑制	1	低騒音・低振動型機械の採用	市川				
		2	状況に応じた工法の選択	市川				
		3	付近住民に理解を求める	市川				
		4	クレーム発生の抑制	市川				

7. 事故は絶対に起さない

取組目標		活動項目		責任者	1～3月   4～5月   6～9月   10～12月			
1	事故ゼロを目指す	1	朝礼で作業員の健康状態を確認する。	久保山				
		2	危険予知活動の内容を確認する。	久保山				
		3	作業の実施過程で目配り、気配りする。	久保山				
		4	AM、PMの現場パトロールで点検する。	久保山				

## 7. 環境関連法規等の遵守状況の確認

当社における環境関連法規の遵守状況を確認した結果、違反はありませんでした。また、過去5年間において違反の指摘と訴訟もありませんでした。

環境関連法規の遵守状況を確認結果

環境法規関連	遵守状況
廃棄物処理法	適応
建設リサイクル法	適応
騒音規制法	適応
振動規制法	適応
六価クロム溶出試験実施要項	該当なし

## 8. 代表者による全体評価と見直し・指示

### (1) 評価

- ・エコアクション21に取り組み10年が経ちました。
- ・環境への取組活動は定着化しており、二酸化炭素排出量・電気・ガソリン・軽油使用量ともに目標達成することができた。産業廃棄物排出量は増加したため目標未達であった。
- ・現場では環境に配慮した施工を行っている。
- ・現場では特に事故防止には気をつけている。
- ・エコアクションへの取組が会社へのコスト削減に役立っている。

### (2) 取組状況

- ・毎年1%削減を目標にして7年間環境負荷の削減に取り組んできたが、令和3年度以降は維持目標としている。
- ・今後も環境負荷低減につながる活動に継続的に取り組んでいく。
- ・さらなる社員の環境意識の高揚を図る。
- ・事故は絶対に起こさないように心がける。

### (3) 見直し指示

- ・環境経営方針：環境経営方針の見直しはしていない。
- ・環境経営目標：  
令和4年度以降令和5年度までは令和3年度の維持目標として様子を見る。
- ・環境活動計画：環境経営計画の見直ししない。
- ・実施体制：変更の必要性はない。